



2025年1月20日

各位

会社名 株式会社トライアイズ
代表者 代表取締役社長 東郷 薫
(コード 4840 東証グロース)
問合せ先 管理部 I R G 課長 高橋 圭紀
電 話 0 3 (3 2 2 1) 0 2 1 1

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年6月19日に修正・公表いたしました2024年12月期通期(2024年1月1日~2024年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期通期業績予想の修正(2024年1月1日~2024年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	942	△60	183	128	16円46銭
今回修正予想(B)	961	0	248	186	23円84銭
増減額(B-A)	18	60	65	57	—
増減率(%)	1.9	—	35.7	44.8	—
(参考)前期実績 (2023年12月期通期)	636	△8	227	102	13円10銭

2. 修正の理由

投資事業において、沖縄リゾート開発プロジェクト案件が想定を超えて遅延していることに伴い、2024年12月期第4四半期に売上高の計上を見込んでいた同プロジェクトの売上高の一部を追加で2025年12月期に計上する見込みとなりました。一方で新規に収益性の高い不動産の販売による売上高を計上する見込みとなりました。当該不動産の販売を主要因として投資事業の売上高は415百万円から463百万円と予測を上回る見込みとなったほか、セグメント利益についても73百万円から140百万円と大幅に予測を上回る見込みとなりました。

建設コンサルタント事業の売上高は予測どおり推移すると見込まれる一方、原価率が予測よりも改善した結果、セグメント利益が65百万円から75百万円と増加する見込みとなりました。

一方でファッションブランド事業は売上高が予測値241百万円から211百万円と減少する見込みとなったほか、工場稼働率低下に伴い原価率が上昇し、セグメント利益は予測値34百万円から17百万円と大幅に減少する見込みとなりました。

以上から、グループ全体の売上高は942百万円から961百万円と微増するほか、営業利益は60百万円増加する見込みとなりました。これにより、△60百万円の営業損失と見込んでいたところ、僅かながらも営業利益を計上する見込みとなりました。営業利益の増加を主要因として、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益もそれぞれ増加する見込みとなりました。

以上より、2024年12月期通期の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回の予測数値を上回ることが見込まれるため、予想数値を修正することといたしました。

以上